

# 雅ねえの、みんなで取り組む

# 獣害対策講座 Vol.4

※タイトルに記載している『雅ねえ』の表記は、本人の原稿どおりで掲載の了承を得ています。

## おさらいと予習

暑くなってきたね。

『動物は安心して餌が食える所に住みたいだけ』、『こんなところ、安心できるひそみ場もないし、餌も食えない』って思えば来ないし、そこでは増えられない。

おなじみの、おさらいと予習から、行くよ。

## 【前回】

ナス、トマト、キュウリ、スイカ、家庭菜園の果菜類も楽しくつくって賢く守る。仕立て方、肥料のあげかた、クズ果や収穫後の遅れ果にも配慮が大切ってお話したけど覚えてるかな？

## 【今回】

昔、タケ類は建築資材、家具、工芸品と生活必需品だった。けど、今はスギ、ヒノキの植林を駆逐し、遊休農地を飲み込み、村内道さえ薄暗くしてしまふなど、そして動物の格好の潜み場になつてる所も多い。

そして、タケノコは、牧草のイタリアンライグラスに次ぐイノシシやサルやサルの餌。

今回はイノシシの餌付け防止に欠かせない竹の話だよ。

## 荒れた竹林は獣の潜み場

何年も放置された笹藪や竹林ってアナグマ、タヌキ、シカ、イノシシたちの格好の潜み場、棲み家になる。ちよつとした傾斜地に密生したササを刈払ったら、アナグマのトンネルの出入り口、いくつもあつたり、しなつて倒れた笹の株元にくきた空間がタヌキの巣になつてたり、道沿いの竹林で竹林の縁部に生えたグミ、ノバラ、ツバキなどの低木の陰にイノシシの寝場所があつたり。

何年も放置された笹藪や竹林って、人が入つて来ない安心ゾーン。人の背丈以上の笹藪って縦横に獣道が走つていても絶対に見えない。竹林も林縁部に低木が茂ると中は見通せない。

つまり、動物から見れば、身を隠せる潜み場どころか、笹藪、竹林全体がイタチ、テン、アナグマ、タヌキ、イノシシ、シカすべての安全安心ゾーン。

## 意外と多い竹林の餌

竹林って言えば、みんな思

い浮かべるのがイノシシの大好きなタケノコ。

だけど、タケノコ以外にも、意外な餌がいっぱいあるから。

縁部の低木やタケをきつてる最中に見つけたアナグマ、タヌキ、イノシシたちの餌、列挙しておくよ。

## 竹林にある動物の餌

竹林内に生えてる餌になる樹木って意外と多い。ビワ、カキ、クワ、キイチゴ、アケビ、グミ、イヌビワ、ミカン類、ユズ、マキ、ギンナンなど。

自生してらつてわけじゃない、たいていは動物や鳥の糞の中の種が発芽したもの。こういう餌つて鳥や動物たち食い放題だから、動物たちの糞で毎年苗が増えていく。

それから、見過ごせないのが、サツマイモ、ジャガイモ、キクイモ、サトイモ、ミカン、スイカ・・・ありとあらゆる野菜や果物のクズ果や、サツマイモのツルといった植物残渣。クズ果や残渣はなるべく人目につかないところに捨てたいって気持ちにはわかるけど、動物って人目につ

かないところで食いたってことぐらい、わかってくれよ、オイッ！

## さっそく、きれいにしよう

じゃあ、さっそく、家や畑に隣接してる獣の楽園、動物が近寄らない動物にとつてのコワゴワゾーンに変えてしまおうよ！

とは言つても、少しだけ勉強してからでないと、働き損のくたびれ儲けになるから、豆知識、書いておくれね。

## なぜ今月号にタケ特集？

なぜ7月号にタケ特集？って思つた方も多いかも。

それには理由が2つあるから覚えておいてくださいな。昔から強くて腐りにくい良い竹材を切り出すのは11月というのが常識。

だけど獣害対策で切つた竹って処分に困るでしょ。だから、常識を逆手にとつて小切りにして放置するならばニカミキリ、タケトラカミキリが活発に行動してる間にやっちゃえば早く腐ってくれる。これが一番目の理由。